日本共産党江戸川区議団

2023年第2回定例議会報告

区民の願いと区議団の論戦が区政を動かす

学校給食費無償化が実現！

新しい区議団で区長要請（6月5日）

区独自の予算で給食費を無償化 9月スタート

4月の区議会議員選挙後の新しい構成となった区議会。6月議会では、ついに学校給食費の無償化が実現。日本共産党区議団は、2371億円に達した積立金など区の財政力を、区民のくらし・福祉・教育のさらなる充実に生かすよう求め、新しい4人のメンバーで奮闘しました。

学校給食費の無償化は恒久的に継続を

3分の1の学校給食費の補助をしていた江戸川区は2013年に廃止しました。それからの10年間にわたって区議団は、補助の復活または無償化の条例案や予算修正案をくりかえし提案してきました。現在の保護者負担は中学生1か月5370円、無償化は子育て世帯への大きな支援です。また、全額区の財源を活用し、無償化を実施したことも重要です。

恒久的な実施について区長は、「毎年23億円、単年度ごとに見直す。収支が赤字になった場合は中止を検討」と答弁。実質的に無償化を継続する姿勢をしめしました。

義務教育の無償化を

憲法26条に「義務教育は無償とする」とあります。

修学旅行や社会科見学の費用、教材費などは保護者負担があり、完全無償化の検討を求めました。教育長は「財政負担が大きいため慎重に研究を行う」という答弁にとどまりました。

核兵器廃絶を江戸川区から

G7サミット「広島ビジョン」は、核兵器を「防衛目的」と正当化。被爆者からはG7サミットは失敗だと指摘されました。区長の見解を問いましたが「核兵器はない方がいいが、国の専管事項であり、私が論評する立場ではない」と答弁。昨年10月の平和首長会議では核廃絶をアピールしていることから再質問しましたが、「見解の違いです」とまともに応えませんでした。

また、葛西区民館を活用して原爆資料室設置を求めましたが、区長は「戦争の記憶を風化させないことが大切。区内の団体と協力連携する」としました。

葛西臨海水族園整備に区民の声を

樹木1400本伐採の懸念、淡水生物館と流れのエリアを残してほしいという区民の声を届け、都に説明会開催をと求めました。区長は、「都のHPで、樹木は可能な限り移植、淡水生物館と流れのエリアについては新水族園に展示とあり、区から申し入れる考えはない」と、区民の声を受け止めませんでした。

先生を増やして学校の働き方改革を、区費で講師の配置を

江戸川区でも4月から先生が足りませんでした。文科省の教員勤務実態調査でも6年前に比べて一日わずか30分しか勤務時間が減りませんでした。一日平均小学校10時間45分、中学校11時間01分、働いても残業代は保障されません。教職員定数増と少人数学級推進を国や都に働きかけること、区費講師の採用を求めました。

教育長は、「退職や病休が見込みより増え、教職がブラック職種といわれ、志望者が減少している。働き方改革は急務。教員確保は国や都に要請する。少人数指導の効果は認めるが課題が多い。本区独自講師配置は、慎重に対応」と述べました。

働き方改革をすすめるために、区独自に講師を配置することが緊急に求められます。すでに配置している区があります。

国保料の引き下げ、ひとり親への支援拡充を条例提案

条例提案権を活用し2本の条例案を提出。今後の議会で実現を目指します。

- 23区で最も重い負担となっている国民健康保険料について、18歳までの子どもの保険料（均等割）をゼロにする条例案
- ひとり親の世帯に支給されている児童育成手当・障害手当の支給額を、月額2,000円ずつ増額する条例案

発行●日本共産党江戸川区議団 江戸川区中央1-4-1
TEL 03-5662-5113／FAX 03-3674-6580
●ホームページ http://jcp-edogawa.com/
●メール kugidan@jcp-edogawa.jp

小松川・平井地域に特養ホームを

区内の日常生活圏域の中で2番目に高い高齢化率の小松川・平井の地域には、50床の特養ホームが1か所しかありません。

地元住民からはかねてから「地域の学校跡地などに特養ホームの増設を」という要望が寄せられていました。住民の福祉の拠点となり、災害時には福祉避難所の役割も果たす特養ホームを小松川・平井地域に増設するよう求めました。

区長は、「特養ホームは生活の場。区内には配置するが、地域を限定して増設する考えはない」と答弁。しかしこれは住民の長年の願いであり、身近な地域に増設すべきです。

ウエル江戸川（平井にある特養ホーム）

補聴器助成を希望者全員に

難聴に悩む高齢者のための補聴器購入費助成は、住民税非課税世帯に上限3万5000円のみ。これでは対象も支給額も不十分です。

難聴で補聴器を使わずにいると認知症のリスクも1・42倍に高まるといわれています。

所得にかかわらず、希望する高齢者全員を支給対象にすること、助成額の増額、買い替えの再申請・再支給を求めました。

区は、「高齢者向け制度は障害者支援を超えない範囲で金額を設定している」と冷たい答弁。区民の切実な要求にこたえるべきです。

区独自の給付型奨学金拡充を

日本の高等教育の学費は、国公立大学では50年間で50倍になり、学生や保護者の負担能力を超える額になっています。学生の3人に1人が、平均300万円の奨学金という借金を背負わなければならない今の社会。区長も、文科省のデータを基に「大きな負担だと思う。経済的理由で進学を断念させたくない」との見解をしめしました。

区の給付型奨学金の拡充（対象者数を100人規模に、支給額の増額）、また、奨学金返済中の若者を支援する制度の新設も求めました。

くらし守る施策一歩前進

改選後の議会では区議団が繰り返し求めてきた「コロナ禍や物価高騰の中、区民のくらし守る区独自の施策」が実現

5月臨時議会

●**高齢者生活支援事業**
65歳以上の方を含む課税世帯（世帯合算所得1,000万円未満、約68,000世帯）に10,000円相当の食料・日用品など8月中旬から申し込みカタログが届きます。申し込みは早めに。

●**ガン患者治療中のウィッグや胸部補整具など購入費助成**（7月から。1年前までの購入が対象）
1点あたり10万円まで、1人2点まで。

●**帯状疱疹ワクチン接種費用一部助成**
（50歳以上の区民・4月から）
•生ワクチン助成1回まで…1回5,000円
•不活化ワクチン助成2回まで…1回約10,000円

●**妊婦検診・エコー検診**…4回まで無料

●**えどがわママパパ応援隊事業拡充**

6月第2回定例会

●**第2子以降の保育料0～2歳を無償**
私立幼稚園・子ども園など入園料（8万円→10万円）や保育料補助額拡充。

●**病児保育料無償**
4,200円→0円（8月から）

●**自転車用ヘルメット購入費用補助**
区内協力店（28店舗）にて7月から2,000円引きで購入可。

●**感震ブレーカー（コンセント式）を全世帯に配布**
秋に申し込み書を区が送付予定。
（都から申し込み書が届く地域有）

問題ある自民党提案の意見書に反対

自民党が『ゼロメートル地帯を広範囲に抱える江戸川区における流域治水対策を求める意見書』と『大規模水害時に被害を減少させるための対策を求める意見書』を提案。

党区議団は、両意見書にある「高台まちづくり」に国の高規格堤防（スーパー堤防）が含まれていることから反対しましたが、賛成多数で可決。

完成が見通せない（荒川で1400年、江戸川で650年かかる計算）高規格堤防ではなく、現実的な治水対策こそ急ぐべきです。

日本共産党江戸川区議団

法律相談

各区議事務所・区議団控室では
常時生活相談を受け付けています。
☎03－5662－5113（控室）

区議団ホームページに2019～2021年度政務活動費の領収書を掲載しました。一部、数字がうすい領収書がありますが、今後改善していきます。

小俣 のり子 区議地域
●連絡先☎03－3655－4422
●場所／小俣事務所
法律相談●8月9日（水）・9月13日（水）
受付：午後6時半～8時
ツイッター@omatanoriko FBは小俣のり子で検索を

大橋 みえ子 区議地域
●連絡先☎03－5674－3753
●場所／大橋事務所
法律相談●8月2日（水）・9月6日（水）
受付：午後6時半～8時
ツイッター@OhashiMiek59844 FBは大橋みえ子 で検索を

牧野 けんじ 区議地域
●連絡先☎03－5662－5113
●場所／牧野事務所
法律相談●8月23日（水）
受付：午後2時～4時
ツイッター@kenji_makino FBは牧野けんじで検索を

太田 あやか 区議地域
●連絡先☎03－3637－4050
●場所／太田事務所（旧セバタ事務所）
法律相談●8月17日（木）・9月21日（木）
受付：午後6時半～8時
ツイッター@jcp_oaya FBは太田あやかで検索を